



2023年度 岡山商科大学孔子学院 中国語スピーチコンテスト

第3回 全日本中国語スピーチコンテスト 岡山県大会

中国語学習の普及と質の向上を目指し、
日中両国民の相互理解と
友情を深めていきましょう。



日時 2023年10月7日(土) 13:00~(受付12:00~)

会場 岡山商科大学孔子学院(岡山市北区津島京町2-10-1)

資格 中国国籍以外で、かつ中国語を母国語としない方

部門 スピーチ部門(一般部門、大学生部門、高校生部門)

◆自由テーマ(5分以内)

朗読部門(一般の部、大学生・大学院生の部、中学生・高校生の部)

◆課題文(岡山商科大学孔子学院ホームページ参照)

表彰 各部門優秀者を表彰します。(岡山商科大学孔子学院中国語スピーチコンテストの表彰は、岡山県内在住者が対象)
優秀者の中から、公益社団法人日本中国友好協会の参加資格等を考慮の上、全国大会へ推薦します。

申込期間 / 2023年9月22日(金)まで

応募方法

裏面をご覧ください。

- ・申込用紙に、氏名・連絡先等必要事項を記入の上、郵送又はFAX、E-mailにて孔子学院宛てに送付してください。

●申込先

住所 〒700-8601 岡山市北区津島京町2-10-1

(郵送、FAX、メール可)

FAX 086-255-6947

E-mail koushigakuin@po.osu.ac.jp

- ◆主催 / 岡山商科大学孔子学院、岡山県日本中国友好協会
 - ◆共催 / 岡山商科大学、大連外国語大学
 - ◆後援 / 中国駐大阪総領事館、岡山県、倉敷市日中友好協会、玉野市日中友好協会、笠岡市日中友好協会、新見市日中友好協会、岡山県華僑華人総会、岡山県国際交流協会
- ※一部予定を含む。

孔子学院の
HPはコチラ!



お問い合わせ

- 岡山商科大学孔子学院 TEL.086-256-6670 **ホームページ**: <https://okayama-koushi.com/>
 - 岡山県日本中国友好協会 TEL.086-201-8844 **E-mail**: jcfa-okayama@crest.ocn.ne.jp
- 岡山市北区奉還町2-2-1 岡山国際交流センター6階(NPO)岡山県国際団体協議会内

朗読課題文

【中学生・高校生の部】

《会打字不会写字》

随着电脑的普及，人们越来越习惯打字，用手写字的能力大大下降，很多人已经变成会打字而不会写字了。现在，尽管小学生和中学生在老师的要求下还会练习写字，但到了大学和参加工作以后，大部分人就不再用笔写字，而改用电脑打字了。

用电脑打字实在太方便了，比如，很多四个字的成语，用拼音输入，只需要打4个字，一两秒就可以打出来，又快又准确。但就是因为太方便了，人们就不再注意这些字到底怎么写，时间一长，当然就不会写了。提笔忘字，已经成了年轻电脑族的家常便饭。

傅由 编著《发展汉语》第二版 中级听力（I）北京语言大学出版社

※一部字句改变

朗読課題文

【大学生・院生の部】

《没有电子邮箱》

有一个失业的年轻人，到一家电脑公司去应聘一份清洁工的工作。面试以后，公司告诉他，他被录取了。

“请你把你的电子邮箱告诉我们，这样才方便跟你联系。”年轻人说：“我没有电脑，所以也没有电子邮箱。”公司告诉他：“对我们来说，没有电子邮箱的人等于不存在的人，所以我们不能聘用你。”

他失望地离开了这家电脑公司，这时他口袋里只有10块钱。他来到市场买了10公斤土豆，挨家挨户地去推销。两个小时后土豆卖光了，他赚了5块钱。

他从来没想到自己竟然可以这样挣钱。于是，他继续推销土豆，业务不断增加，挣的钱越来越多。短短五年以后，他成立了一个非常大的“挨家挨户”销售公司，用便宜的价格，把新鲜蔬菜和水果送到客户的家门口。

保险公司找到他，要为他和家人设计一套保险，他同意了。签合同同时，保险公司的人向他要电子邮箱。他不得不再次说：“我没有电脑，也没有电子邮箱。”保险公司的人很吃惊：“您有这么大一个公司，却没有电子邮箱。想想看，如果您有电脑和电子邮箱的话，可以多做多少事情啊！”

他轻轻一笑，说：“那样的话，我就会成为电脑公司的清洁工。”

朗読課題文

【一般の部】

《经验丰富》

在一家高档餐厅里，人们正在用餐。突然一个人焦急地大声叫嚷：“天哪！我儿子噎着了，他吞下了一枚硬币，有谁能帮帮他？求求大家，帮帮我儿子！”

“我来！”一个坐在附近餐桌的男子站了起来，稳步向孩子走去，脸上没有丝毫慌乱的神色。他用右手捏住孩子的腮帮子，孩子的嘴立刻就张得大大的，然后再用左手绕住孩子的下腹，狠狠地收拢胳膊一勒，“当”的一声，硬币从孩子嘴里蹦了出来。完成了这一系列熟练潇洒的动作后，他泰然自若地走回自己的餐桌接着用餐，仿佛一切都发生过，在场的人都看呆了。

半晌，孩子的父亲才回过神来，万分感激地走到恩人面前：“太谢谢您啦！没有您，会有什么结局，我想都不敢想。幸亏遇见了您……您一定是一位经验丰富的儿科大夫吧？”

“不，我在税务局工作。”

<https://www.xigushi.com/ymgs/15118.html>

※一部字句改变

2023 年度岡山商科大学孔子学院中国語スピーチコンテスト兼

第3回 全日本中国語スピーチコンテスト岡山県大会

開催要項

1. 目的

本県における中国語学習の普及と質の向上を目指し、日中両国民の相互理解と友情を深めることに寄与することを目的とする。

2. 開催時期・会場

日時 2023年10月7日(土) 13:00～(受付 12:00～)

会場 岡山商科大学孔子学院 (岡山市北区津島京町 2-10-1)

3. 主催・後援等

主催 岡山商科大学孔子学院
岡山県日本中国友好協会

共催 岡山商科大学
大連外国語大学

後援(予定)

中国駐大阪総領事館

岡山県、倉敷市日中友好協会、玉野市日中友好協会、笠岡市日中友好協会、
新見市日中友好協会、岡山県華僑華人総会、岡山県国際交流協会

4. 部門

スピーチ部門(一般部門、大学生部門、高校生部門、)

自由テーマ(5分以内)

朗読部門(一般の部、大学生・大学院生の部、中学生・高校生の部)

課題文(参照、各部門別)

5. 参加費 無 料

6. 参加資格 中国国籍以外で、かつ中国語を母国語としない者

7. 表彰

各部門優秀者を表彰する。

ただし、岡山商科大学孔子学院中国語スピーチコンテストについては、県内在住者のみから表彰を行う。

全日本中国語スピーチコンテスト岡山県大会については、優秀者の中から、公益社団法人日本中国友好協会の参加資格等（別添）を考慮の上、全国大会へ推薦する。（各県ごとに推薦枠があるため、県ごとに推薦する。）

8. 応募方法

- ・申し込み用紙に、氏名・連絡先等必要事項を記入の上、郵送又はFAXにて孔子学院あて送付する。
- ・孔子学院ホームページより申請可能です。

申込先 住所 〒700-8601 岡山市北区津島京町 2-10-1
FAX 086-255-6947
E-mail koushigakuin@po.osu.ac.jp

申込締切日 2023年9月22日（金）

9. お問い合わせ

岡山商科大学孔子学院

TEL 086-256-6670

<https://www.okayama-koushi.com/>

岡山県日本中国友好協会

〒700-0026 岡山市北区奉還町 2-2-1 岡山国際交流センター6階
(NPO) 岡山県国際団体協議会内

TEL 086-201-8844

E-mail: jcfa-okayama@crest.ocn.ne.jp

スピーチ部門

1. 全国大会の出場について

3部門からなり、出場者数は「大学生部門」10名程度、「高校生部門」6名程度、「一般部門」6名程度とする。

※上記出場者数以上のエントリーがあった場合には、あらかじめ委嘱している審査員による1次審査(都道府県大会時の音源審査)を行い、全国大会への出場者を決定する。

※専門学校生、高専4年生以上は大学生部門とする。

2. 参加資格

全国大会へは以下のいずれかの条項にあてはまる者は出場できない。

■3部門共通条項 ——

- ① 日本国籍を有しない者
- ② 中国語を母語(*注1)とする者
- ③ 両親のいずれかが中国語を母語とする者
- ④ 中国語を主に授業を行なっている学校(中華学校など)に在学中の者、在学した者、卒業した者。
- ⑤ 中国語を日常語とする地域に通算13ヶ月以上留学(*注2)または滞在したことのある者
- ⑥ 業務として中国語を日常的に使用したことのある者、または現在使用している者
- ⑦ 過去、全国大会において優勝した者

*注1 母語とはその者の生活環境において使用されている言語 (最初に自然に身につけた言語)

*注2 オンライン留学は含まず

■「大学生部門」のみの出場不可条項 ——

- ① 日本の大学(*注3)、大学院、専門学校(*注4)、高専4年生以上に在学していない者
- ② 出場時の年齢が30歳以上の者(「一般部門」から出場すること)

*注3 短大、文科省指定の外国大学日本校を含む

*注4 専門学校とは、「専門士」の資格を与えられる学校を指す

■「高校生部門」のみの出場不可条項 ——

- ① 日本の高校に在学していない者

■「一般部門」のみの出場不可条項 ——

- ① 2008年4月2日以降に生まれた者(すなわち中学生以下)
- ② 大学、大学院、専門学校(専門学校については大学生部門条項*注4を参照)に在学している者(ただし、出場時の年齢が30歳以上の場合はこれに限らない)

※ 出場資格に疑問のある場合は、主催者側が可否を決定する。

3. 都道府県大会から全国大会へのエントリー方法

- ・都道府県大会の優秀者の中から「大学生部門」「高校生部門」「一般部門」各1名を全国大会出場者として推薦する。ブロック内で行う場合は、各県がそれぞれ推薦枠を有しても可。
- ・3部門のいずれかのみへの推薦も可とする。
- ・一つの部門へ複数名の推薦は不可とする。
- ・各部門ともに以下の書類を **11月2日(木)必着** で全国大会事務局に提出する。(下記①④⑤は後日、全国大会事務局より各都道府県大会事務局へメール添付にて送付)
 - ① エントリー用紙(都道府県大会事務局用)
 - ② 都道府県大会時のスピーチを録音した音源(本人分を抽出しデータにて提出すること)
 - ③ スピーチ原稿データ(中国語と日本語各1通) 原稿は内容集他に掲載し、著作権は主催者に帰属します。
 - ④ エントリー用紙(出場者用)(word フォーム)
 - ⑤ エントリーフォーマット(excel フォーム)

- ※ **エントリーの際に提出するスピーチの音源は、必ず都道府県大会時に録音したものを送ること。後から収録したものは審査の対象外とする。また、原稿の変更も不可とする。**
- ※ **音源は本人分のみをデータにてメール添付で提出のこと。**
- ※ **発表原稿は過去未発表のものとする。**

4. テーマおよび審査

*テーマ:「大学生部門」「高校生部門」「一般部門」ともに自由テーマ(5分以内)

— 参考(前回の受賞者のテーマ) —

第40回 「大学生部門」/「友情の芽生え」「宇宙から来た友人」「松柏の力強さ」

「高校生部門」/「“嗑瓜子儿”、それでも大きな成功」「成せばなる」「コロナは私の夢を変えることはできない」

「一般部門」/「感じること」「現代生活で着物を着る楽しみ」「私が会いたい人」

*審査

1次審査・・・「大学生部門」へ10名以上、「高校生部門」へ6名以上、「一般部門」へ6名以上のエントリーがあった場合には、あらかじめ委嘱している全国大会審査員による音源審査を行い、全国大会への出場者を決定し、12月上旬までに本人と都道府県大会事務局に通知する。

全国大会の審査(全部門共通)

- ・各人のスピーチ(原則として原稿は見ないこと)と審査員による質疑応答(1分前後)を行う
- ・審査基準：
 - ① 正確な発音で流暢かつ豊かな口頭表現ができているか
 - ※ただし歌などのパフォーマンスは不可
 - ② テーマに沿った内容で適切な中国語による論旨明晰な文章表現か
 - ③ 内容を把握しており、質問に対して適切に答えられるか

5. 表 彰

- ・スピーチ終了後、審査員が判定会議を開き入賞者を決定する。
 - 大学生部門 … 第1位 ～ 6位
 - 高校生部門 … 第1位 ～ 3位
 - 一般部門 … 第1位 ～ 3位
- ・1位～3位には後援・協力団体賞等を授与する。また、全出場者の中から「日中友好協会会長賞」を選ぶ。
 - ※ 予定後援・協力団体賞等は以下のとおり
 - 「外務大臣賞」、「中日友好協会賞」、「文部科学大臣賞」、「中国教育部賞」
 - 「中国大使賞」、「読売新聞社賞」、「NHK会長賞」、「人民中国賞」
 - 「共同通信社賞」、「日中友好会館賞」、「国際文化フォーラム賞」

6. その他

全国大会の実行予算は別に定める。

7. 都道府県大会開催の登録

開催する各都道府県大会事務局は、所定の「開催登録フォーマット」に必要事項を入力し、5月24日(水)必着で全国大会事務局までメール添付にて送付、登録するものとする。

朗 読 部 門

1. 目 的

中国語学習を始めて一定期間以内の者を対象とし、更なる中国語の普及と質の向上を目的とする。

2. 全国大会の入賞について

3つの部からなり、入賞者数は「大学生・大学院生の部」「中学生・高校生の部」「一般の部」の3部よりそれぞれ3名程度とする。

3. 参加資格

全国大会へは以下のいずれかの条項にあてはまる者は出場できない。

■3部共通条項 ——

- ①日本国籍を有しない者
- ②中国語を母語(*注5)とする者
- ③両親のいずれかが中国語を母語とする者
- ④中国語を主に授業を行なっている学校(中華学校など)に在学中の者、在学した者、卒業した者
- ⑤中国語を日常語とする地域に継続1ヶ月以上滞在(含・留学)(*注6)した経験のある者
- ⑥業務として中国語を日常的に使用したことのある者、または現在使用している者
- ⑦高校、大学、専門学校において中国語を専攻している者(過去に専攻していた者も含む)の内で都道府県大会出場時に学習期間2年を超えている者。
- ⑧専攻以外の者(第二外国語、中国語教室等で学習、独学)の内で都道府県大会出場時に学習期間4年を超えている者。ただし、「一般の部」出場者に関しては、**60歳以上で初めて中国語学習を始めた者は学習期間を問わない**。

*注5 母語とはその者の生活環境において使用されている言語(最初に自然に身につけた言語)

*注6 オンライン留学は含まず

■「大学生・大学院生の部」のみの出場不可条項 ——

- ①日本の大学(*注7)、大学院、専門学校(*注8)、高専4年以上に在学していない者
 - *注7 短大、文科省指定の外国大学日本校を含む
 - *注8 専門学校とは「専門士」の資格を与えられる学校を指す
- ②出場時の年齢が30歳以上の者(「一般の部」から出場すること)

■「中学生・高校生の部」のみの出場不可条項 ——

- ①日本の中学、高校に在学していない者

※ 出場資格に疑問のある場合は、主催者側が可否を決定する。

4. 都道府県大会から全国大会へのエントリー方法

- ・都道府県大会の優秀者の中から「大学生・大学院生の部」「中学生・高校生の部」「一般の部」各1名を、全国大会での朗読発表者として推薦する。
- ・3部のいずれかのみへの推薦も可とする。
- ・一つの部へ複数名の推薦は不可とする。
- ・3部ともに、以下の書類を11月2日(木)必着で全国大会事務局に提出する。(下記①③④は後日、全国大会事務局より各都道府県大会事務局へメール添付で送付)
 - ① エントリー用紙(都道府県大会事務局用)
 - ② 都道府県大会時の朗読を録音した音源(本人分を抽出し、データにて提出すること)
 - ③ エントリー用紙(出場者用)(wordファイル)
 - ④ エントリーフォーマット(excelファイル)

※ エントリーの際に提出していただく朗読の音源は、必ず都道府県大会時に録音したものを送ること。後から収録したものは審査の対象外とする。
※ 音源は本人分のみを「データ」にてメール添付で提出のこと。

5. 課題文および審査

*課題文:5月中に各都道府県大会事務局へ送付する。

*審査

提出された音源による審査を行う。入賞者各部3名(合計9名)(*注9)を選抜し、内、最優秀者各部1名(合計3名)、優秀者各部2名(合計6名)を決定する。審査結果については、12月上旬までに本人と各都道府県大会事務局に通知する。

・審査基準:発音、イントネーションが正確かつ流暢であるか。

*注9 エントリー数が少ない場合、また、入賞のレベルに達しない場合は、この数の限りではない。

6. 朗読発表および表彰

*全国大会での朗読発表者は最優秀者(各部1名、合計3名)とし、表彰式で最優秀賞及び後援団体賞を授与する。朗読発表は、スピーチコンテストの休憩時間(スピーチ部門の判定会議の時間)を使って行い、表彰はスピーチ部門と同時間に行う。

*朗読中、課題文を見ることは構わない。

*優秀者(各部2名、合計6名)には優秀賞の賞状を別途郵送する。

7. 都道府県大会開催の登録

開催する各都道府県大会事務局は、所定の「開催登録フォーマット」に必要事項を入力し、5月24日(水)必着で全国大会事務局までメール添付にて送付、登録するものとする。

公益社団法人日本中国友好協会

〒111-0043 東京都台東区駒形1-5-6 金井ビル

Tel : 03-5811-1521 Fax : 03-5811-1532

e-mail: speech@j-cfa.com